



開校150周年(明治6年創立)

令和5年10月31日(火)

あきる野市立多西小学校

校長 小原 太一

ハートフル多西

150年という年月

明後日、11月2日は多西小学校の開校記念日です。82年前の昭和16年に、現在のこの地に多西小学校の校舎が完成したことを受け、その年の11月2日に落成式を行ったことから、開校記念日として制定されました。

151年前。明治政府から「学制」が公布されました。これは我が国で初めての教育に関わる法令です。この法令に基づき、日本で初めて国が主導する学校づくりが始まったのです。その翌年、明治6年に多西小学校の前身である「開明学舎」が創立されました。多西小学校は日本で一番歴史の長い小学校の一つです。創立された当初はまだ独立した校舎は無く、いくつかのお寺を借りて教育が行われていました。また、学費等、かかる費用は全て住民の負担だったようです。それでも、子どもたちのために、地域をあげて学校を創立したこの多西小学校の地域の方々は、教育にとっても熱心であったと言えるでしょう。

その後、校名が「開明学校」、「智進学校」、「尋常智進小学校」「智進尋常高等小学校」「多西尋常高等小学校」「多西国民学校」と変わり、昭和23年に現在の名称の「多西小学校」となりました。その間、瀬戸岡や菅生、平井にも学校や分教場も創立されましたが、昭和16年に、現在の地に校舎が完成した時に合併することとなりました。ちなみに現在の鉄筋コンクリートの校舎は昭和44年に完成しました。私が生まれたのが昭和46年ですから、この校舎は私より先輩ということになります。私が生まれるより100年も前から多西小学校の歴史は始まっていたのかと思うと、それだけで畏敬の念を抱いてしまいます。150年というと、5世代にわたる年月となります。今、小学生の子どもたちの、祖父母の祖父母の更にその父母の世代となります。その世代になると、もう名前も分からなくなるほどですね。子どもたちには、これほど長い歴史のある学校に通っていることに、ぜひ誇りをもってもらいたいと思います。

先日、多西小学校150周年実行委員会が発足しました。これまでPTA等で関わってくださっていた方々が委員となってくださっています。来年度、令和6年11月に記念式典を予定しておりますが、それまでに、記念誌を準備したり、記念事業を行ったり、年間を通して、子どもたちだけでなく、保護者の皆様、地域の皆様と共に、多西小学校のこの長い歴史を振り返り、多西小学校への愛情を深めると共に、これからの時代を共に乗り越えていくために、より多くの方とつながれる、そんな1年にしていきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様には、様々、お力をお借りすることとなりますが、どうぞご協力くださいますよう、お願いいたします。

ふれあい月間(いじめ防止強化月間)

11月は、東京都の全ての公立小中学校で実施している「ふれあい月間」です。11月には全校児童を対象にアンケート調査を行い、いじめが潜んでいないか、いじめの芽が無いかを学校全体で取り組んでいきます。どんなに小さいいじめであっても、教員全体で情報を共有し、複数の教員で対応するなど、より多くの子どもの心を見守っていきます。また、いじめの未然防止に向け、道徳や学級活動の時間で子どもたちの心を耕すなど、温かい学級の雰囲気作りを行います。ご家庭でご心配なことなどございましたら、いつでも担任等にご相談ください。

